

「iPS 細胞を用いた免疫性末梢神経疾患の研究」について

(1) この研究の目的と意義について

免疫性末梢神経疾患は、免疫系の異常により、末梢神経系の細胞が障害を受け発症する疾患です。その中には、ギラン・バレー症候群などが知られています。原因の一部は同定されていますが、不明な点も多くあります。このため、病気の原因を調べる研究や治療薬を探す研究が必要です。

(2) 研究の方法について

この研究では、免疫性末梢神経疾患の患者さんの血液とヒト iPS 細胞を用いて病気の原因を調べ、治療薬を探す研究を行います。また、遺伝子等の解析を行い、病気の原因を詳しく調べ、治療薬研究のために役立てます。

研究期間 : 承認日～2022 年 3 月 31 日
研究機関 : 京都大学 iPS 細胞研究所
研究責任者 : 増殖分化機構研究部門・教授・井上治久
共同研究機関 : 近畿大学

研究で利用する試料・情報等の項目	<試料> iPS 細胞(研究計画 R0091 号及び G259 号に同意頂けた方から作製した iPS 細胞および理研細胞バンクの寄託細胞が対象)、血液成分(近畿大学の研究「神経疾患における自己抗体の検討」で採取された既存試料) <情報> 診断名、年齢、性別などの臨床情報
試料・情報の利用目的及び利用方法	免疫性末梢神経疾患の患者さんや健康な方の血液および血液から作製した iPS 細胞を用いて病気の原因を調べ、治療薬を見つけるための研究を行います。また、遺伝子等の解析を行って病気の原因を詳しく調べ、創薬のために役立てます。
試料・情報を利用する者の範囲	京都大学 iPS 細胞研究所
他機関へ提供する試料や情報等	<試料> なし <情報> なし
他機関へ提供する方法	<試料>

(3) 個人情報の取扱いについて

研究にあたっては、個人を容易に同定できる情報は削除したり関わりのない記述等に置き換えたりして使用します。また、研究を学会や論文などで発表する時にも、個人を特定できないようにして公表します。

(4) 研究成果の公表について

この研究成果は学会発表、学術雑誌およびデータベースなどで公表します。

(5) 研究計画書等の入手又は閲覧

本研究の対象者に該当する方は、希望される場合には、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で本研究に関する研究計画書等の資料を入手・閲覧することができます。

(6) 連絡窓口

本研究への協力を辞退される場合は下記の期日まで窓口までご連絡ください。

京都大学 iPS 細胞研究所 CiRA 倫理審査委員会事務局

電話番号：075-366-7329

受付時間：平日 10:00～17:00

Eメール：jps-ethics@cira.kyoto-u.ac.jp

期 日：2021年3月14日17時まで(原則として、情報公開から2か月間)